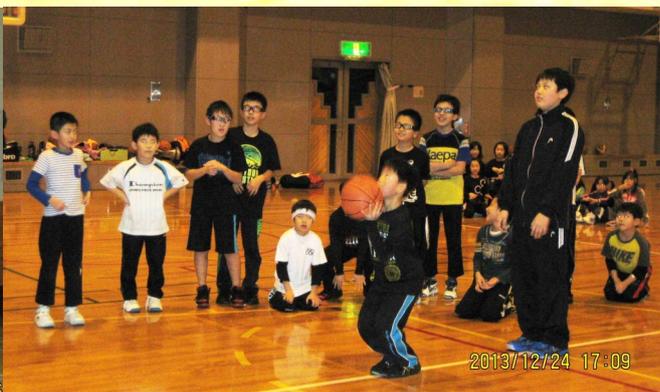


「佐呂間ミニバスケットボール少年団」

まちで輝いている人たちを紹介します



私たち佐呂間ミニバスケットボール少年団は、平成24年に結成され、佐呂間小と若佐小の児童による男女合わせて、1年生から6年生までの37名で活動しています。

「友情・ほほえみ・フェアプレー」というミニバスの精神にのっとり、挨拶・思いやりの気持ちを大切に、皆仲良く、明るくミニバスを楽しんでいます。

佐呂間小体育館で週2～3回練習を行っています。結成して間もないため、公式戦の大会では、まだ勝利は

ありませんが、負けを糧に成長の姿が見られます。練習試合も行い、レベルアップに向け、一生懸命練習しています。

練習・大会において、父母会の協力が不可欠であり、子供たちに熱い声援を送り、温かく見守っています。また、親子焼肉やクリスマス、卒団式にはビンゴ大会をするなど、練習以外の楽しみももうれしいようです。

今後の目標は、精一杯元気に練習を頑張り、まずは「1勝!!」を目指し活動していきます。

あとがき

嫁姑の不仲話はよく聞く話ですが、先日、温根湯の住職からこんな話を聞きました。認知症の義母をお世話する嫁の話です。

結婚当初からその嫁は、義母に一方的に悪口を言われ続けてきたようで、それは親戚から近所の他人まで容赦なかったみたいです。しかし、何一つ言い返すことなく長年一緒に暮らしてきました。その義母が最近になって認知症になってしまったのですが、嫁は引き続き自宅で献身的な介護を続けたようです。

そんなある日、嫁が泣きながら住職のところに来て、義母にこんな事を言われたというのです。

「あなたは本当に素敵な女性です。優しく賢い人です。あなたのような方が息子のお嫁さんだったら良かったのに・・・」

認知症のケアはご家族をはじめ本当に大変だと思えます。そんな中でちよっとホッとされるお話でした。

(本見研介)